

様式1

領収書等添付一覧表

(令和3(2021)年度)

支出項目	調査研究費			
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額	支払先
1-1	R3.11.5	11/4~5福島第一原子力発電所・いわき市地域防災交流センター・福島メガソーラー	66,844円	ホテルルートイン いわき駅前他4件
1-2	R3.11.25	11/23~25 島根原子力発電所・松江市議会議員懇談・ウインドファーム	208,838円	ホテルルートイン 松江他
1-3		以下空欄		
1-4				
1-5				
1-6				
1-7				
1-8				
1-9				
1-10				
1-11				
1-12				
1-13				
1-14				
1-15				
計			275,682円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

会派長	経理責任者
相澤宗一	近藤由香里

政務活動費

令和3年11月11日

氏名 近藤 由香里

政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。

月 日	項 目	金 額	備 考
11月4日	交通費	5,570	高速道路通行料（柏崎～船引三春）
	交通費	600	駐車場（ホテルルートインいわき駅前）
	旅費	21,000	宿泊料（ホテルルートインいわき駅前）朝食付7,000円×3人
11月5日	交通費	7,270	高速道路通行料（いわき四倉～小野 1,580円、須賀川～柏崎 5,690円）
	自動車燃料費	1,790	セキショウカーライフ（株）磐梯山SA
	自動車燃料費	7,614	中村石油（株）Dr. Drive柏崎半田
	視察受入等負担金	5,000	いわき語り部の会
	旅費	18,000	夕食代 3,000円×3人×1泊 旅費雑費 1,500円×3人×2日
合 計		66,844	
概算（仮）払額			
差引	（請求額）	66,844	
	（返金額）		
（備考） 参加者： 相澤宗一、佐藤和典、近藤由香里			

支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 研修費 <input type="checkbox"/> 3 広報費 <input type="checkbox"/> 4 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 会議費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 9 人件費 <input type="checkbox"/> 10 事務所費	整理番号 （項目別）
		1 - 1

領収書等整理票

会派名 民友

整理番号 1 - 1 - 1

支出項目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	X	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 船引三春  
 NEXCO東日本お客さまセンター  
 0570-024-024  
 または  
 03-5308-2424

21年11月 4日10時07分  
 車種 普通

通行料金 ¥5,570-  
 (現金)

一入口料金所一 柏崎  
 ETCなら小銭不要。各種割引もあります。  
 便利でお得なETCをぜひご利用下さい。  
 東日本高速道路株式会社  
 東京都千代田区霞が関3-3-2  
 取扱番号207-00300712-00

領 収 書

No.000169952 HOST 21/11/04 18:35  
 [途中精算]

**部屋No.1203**

ご利用期間 2021/11/04~2021/11/05  
 ご利用日 2021/11/04

民友 様

ご請求額 600円

上記金額を領収致しました

ホテルルートインいわき駅前

福島県いわき市平四町目22-3  
 TEL 0246-36-6101  
 FAX 0246-21-6331

印紙税申告納  
 付につき品川  
 税務署承認済

ルートインジャパン株式会社  
 作成地：東京都品川区大井1-35-3

◆ご利用明細◆

ご請求額 600円

吉田駐車場 600円  
 (内消費税 54円)  
 10%税込 対象合計 600円

ご入金額 600円(現金)





領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 1 - 1 - 4

支出項目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費		

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

No. \_\_\_\_\_

氏 名 様

金額	5,000
----	-------

但し 令和3年11月5日 上記正に領収いたしました。

内 訳 （印）

税抜金額 \_\_\_\_\_

消費税額（%） \_\_\_\_\_

税抜金額 \_\_\_\_\_

消費税額（%） \_\_\_\_\_

登録番号 \_\_\_\_\_

GR1520



納品書(領収書)

2021年11月05日 14:21

売上 上 様 M  
3600-00000-1000  
現金フリー  
車両番号 実車番  
0026-00  
ENEOSレギュラー P-02  
10.00L \*  
179円 ￥1,790  
合計 ￥1,790  
(消費税10%対象 ￥1,790  
内消費税等 ￥163)

現金でお買い上げの場合は、  
領収書にかえさせていただきます。

キャブロック確認

セキショウカーライフ株式会社  
磐梯山SA  
福島県 耶麻郡 磐梯町  
更科高森平2481-84  
TEL:0242-63-0700 SS-250385  
シートNo 7289-01 データNo6271-6272  
003 2021/11/05



納品書(領収書)


2021年11月05日 16:45

売上 大切なお客様 様 M  
6-470394-49994-001  
現金フリー  
車両番号 実車番  
0026-00  
レギュラー P13  
数量 47.00L \*  
単価 162円 ￥7,614  
合計 ￥7,614  
(消費税10%対象 ￥7,614  
内消費税等 ￥692)

現金でお買い上げの場合は、  
領収書にかえさせていただきます。




中村石油株式会社  
Dr. Drive 柏崎半田  
新潟県柏崎市田中15-10  
TEL:0257-24-7933 SS-470394  
シートNo 4909-03 データNo9761-9762  
001 2021/11/05

様式 4

会派長
相澤 宗 



政務活動費
-------

令和3年11月11日

民友  
氏名 相澤 宗   
佐藤 和典   
近藤 由香里 

### 政務活動報告書

次のとおり報告します。

種 別	■調査研究 (□行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議	
期 間	令和3年11月4日(木) ~ 令和3年11月5日(金)	
1	日 時	11月4日(木) 12:30 ~ 11月4日(木) 16:30
	用 務	福島第一原子力発電所
	出張先	福島県双葉郡大熊町
	調査又は 要望項目 (※)	廃炉作業の進捗状況について
	対応者 (※)	福島第一廃炉カンパニー 廃炉コミュニケーションセンター 副所長兼リスクコミュニケーター  様
	報 告	別紙のとおり
2	日 時	11月5日(金) 8:30 ~ 11月5日(金) 9:45
	用 務	いわき市地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館
	出張先	福島県いわき市
	調査又は 要望項目 (※)	震災経験の伝承と防災教育について
	対応者 (※)	いわき震災伝承みらい館 いわき語り部の会  様
	報 告	別紙のとおり

※研修会、各種会議は記入不要

3	日時	11月5日(金) 11:10 ~ 11月5日(金) 11:40
	用務	福島空港メガソーラー事業
	出張先	福島県須賀川市
	調査又は要望項目(※)	再生可能エネルギー活用事業について
	対応者(※)	福島発電株式会社 企画員 [REDACTED] 様
	報告	別紙のとおり
4	日時	: ~ :
	用務	
	出張先	
	調査又は要望項目(※)	
	対応者(※)	
	報告	別紙のとおり

※研修会、各種会議は記入不要

福島第一廃炉推進カンパニー  
 廃炉コミュニケーションセンター  
 副所長兼 リスクコミュニケーター



東京電力ホールディングス株式会社  
 〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字沢字北原22  
 TEL(0240)30-9301(代表) FAX(0240)30-9316  
 E-mail: kimoto.takahiro@tepcoco.jp  
 https://www.tepcoco.jp

**TEPCO**

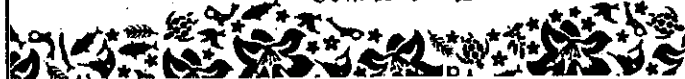
いわき震災伝承みらい館  
 〒970-0229 福島県いわき市薄磯3-11  
 ●0246-38-4894 (TEL)  
 ●0246-38-4895 (FAX)  
 ●https://memorial-iwaki.com/



いわき語り部の会



携帯番号: [REDACTED]



**FE**  
 未来を拓く自然と人のエネルギー  
**福島発電株式会社**

むし、ひま、  
 家、環、可、  
 永、く、ま

企画員 [REDACTED]

福島空港ビル: 〒963-6304 福島県石川郡玉川村北須釜はばき田21  
 TEL 0247-57-1511 · FAX 0247-57-1515  
 E-mail abe@fukushima-power.com

本社: 〒960-8043 福島県福島市中町5番21号  
 TEL 024-523-2660 · FAX 024-523-2722  
 URL http://fukushima-power.com/

浜通り事務所: 〒979-1141 福島県双葉郡富岡町上手岡字下千原332  
 TEL 0240-23-5154 · FAX 0240-23-5144



# 出張報告

報告日 令和3年11月15日

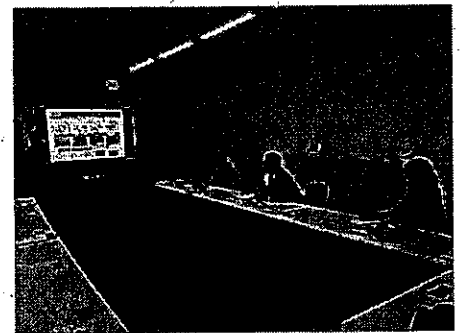
会派名	民友
報告者氏名	相澤宗一、佐藤和典、近藤由香里
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ( <input type="checkbox"/> 行政視察 ) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	福島第一原子力発電所
日時	令和3年11月4日(木) 12:30~16:30
場所 (会場)	福島県双葉郡大熊町
調査項目等	廃炉作業の進捗状況について
概要	<p>◆対応者(東京電力ホールディングス株式会社)            東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー            廃炉コミュニケーションセンター副所長兼リスクコミュニケーター <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 氏</p> <p>◆廃炉資料館            ①シアター上映(地震発生から原子力事故とその対応)            ②館内説明</p> <p>◆事務本館会議室(廃炉・汚染水・処理水対策の概要)            ①廃炉の主な作業項目と作業ステップ            ・使用済燃料プールからの燃料取り出し: 3, 4号機完了。1~2号機準備中            ・燃料デブリ(事故で溶け落ちた燃料): 1~3号機取り出し準備中。            ②処理水対策            ・多核種除去設備等処理水(ALPS処理水)は海洋放出を基本方針とすることが決定。            ③汚染水対策            ・処理水は溶接型タンクで保管。陸側遮水壁、サブドレン等の重層的対策などにより汚染水の低減を図っている。</p> <p>◆福島第一原子力発電所・構内視察            ①既設多核種除去設備(既設ALPS)            ②増設多核種除去設備(増設ALPS)            ③1~4号機原子炉建屋外観俯瞰エリア            ④地下水バイパス設備 ⑤サブドレン浄化設備            ⑥海側設備 ⑦6号機非常用ディーゼル発電機            ⑧雑个体廃棄物焼却設備            ⑨固体廃棄物貯蔵棟(第9棟)            ⑩乾式キャスク仮保管設備 ⑪免震重要棟</p>



- ⑫高性能多核種除去（高性能 ALPS）設備
- ⑬ALPS 処理水サンプル

◆確認事項

- ・ALPS フィルター破損が報道されたが、実際はベント管のフィルターが破損しており、報告が遅れたことが指摘対象となった。ALPS 自体の性能に問題ない。
- ・2021 年 4 月に ALPS 処理水の海洋放出方針が閣議決定されてから理解活動を進めてきた。地元漁業組合等の理解は得られつつあるが、消費者に対する理解促進が課題となる。
- ・発電所構内に倒れた鉄柱等をアーカイブ的に保存し、東日本大震災による事故を知らない若い社員に対する教育の一貫としている。コロナ禍以前は柏崎刈羽原子力発電所との交流もあったが、現在は中断している。
- ・構内の放射線量が下がり一般作業服で活動できるエリアが多い。そのことにより作業全体が進んでいる。
- ・構内の地下水等（ALPS 処理水以外）はトリチウム 1500 ベクレル以下/ℓ で既に海洋放出している。ALPS 処理水もトリチウム含有水という意味では同じであり、さらなる理解促進が必要。



所感等

【相澤宗一】

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から 10 年が経過、ほぼ毎年、相双地区の復興並びに福島第一原子力発電所の復旧状況を確認させてもらっている。大熊町では新しい商業施設、交流ゾーンが今年度開設、発電所構内では協力企業の建物を徐々に使用し始めるなど、時間経過による線量低減もさることながら、関係各位の努力に敬意を表したい。廃止措置作業において処理水・燃料デブリ対策には困難が多いが、着実に前進しているように感じた。柏崎刈羽原子力発電所では暗いトンネルに入り込んでしまった観があるが、福島第一事故の経験からあらゆる事象の可能性を考え、安全を最優先に信頼回復に努めていただきたい。

【佐藤和典】


政府は今年 4 月、東京電力福島第一原発の処理水を海洋放出する方針を決めた。そして、東京電力は海底トンネルを掘って第 1 原発の沖合 1 キロの海中に処理水を放出する計画とした。政府としては、風評被害への強い懸念がある中、「決して風評での影響を生じさせない」との強い決意をもって対策に万全を期すとしている。また、それは 2 年後に放出を始めるとしている。まだ先のこととは言え、東京電力も含め状況が全く進展していないように思える。東京電力だけに任すのではなく、政府の強力な指導が改めて必要だと感じた。

【近藤由香里】

福島第一原子力発電所での廃炉作業は、放射線量の低減により、この 1 年でかなり進んでいた。また今年 4 月に ALPS 処理水の海洋放出方針が決定し、廃炉作業全体が新たなステップに入っていると感じた。ALPS 処理水も一般の汚染水も残留するのは同じトリチウムであり、後者はすでに海洋放出している。科学的な根拠をもとに「ALPS 処理水だから危険」という風評を払拭し、周辺海域の魚介類が安全であるとのキャンペーンを行う等して、消費者への理解促進を進めることが大切だと思う。私自身も風評払拭につながる活動をしていきたい。

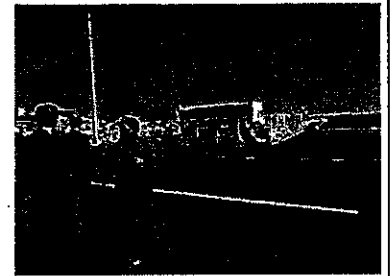
## 出張報告

報告日 令和3年11月15日

会派名	民友
報告者氏名	相澤宗一、佐藤和典、近藤由香里
種別	■調査研究（□行政視察） □研修会 □要請・陳情 □各種会議
用務	いわき市地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館
日時	令和3年11月5日（木） 8:30~9:45
場所（会場）	福島県いわき市
調査項目等	震災経験の伝承と防災教育について
概要	<p>◆対応者 いわき震災伝承みらい館 いわき語り部の会、 様</p> <p>◆いわき市地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館 災害時の防災拠点機能といわき市役所の支所・公民館のまちづくり活動拠点機能を一体化させたもので、平成28年10月にオープン。東日本大震災とそれに伴い発生した津波で甚大な被害を受けたいわき市久之浜地区で津波発生時の避難用として建設された。 鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積は約2千平方メートルで、1階に市役所支所と公民館の窓口を置き、2階と3階に研修室や津波の教訓を後世に伝える資料室などを設けている。 災害発生時には、同ビルから海側300メートルの範囲の住民276人の緊急避難所として、避難スペースや3日分の水と1日分の食料等を保管した備蓄倉庫、非常用発電設備等の機能を備える。</p> <p>◆震災体験の伝承（語り部ガイド）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• いわき市久之浜町の一帯は3年前にインフラ整備が98%完了。</li> <li>• 東日本大震災当時は約6万人が避難したが、現在は約半数にあたる3万人が帰還。</li> <li>• いわき市の人口は33万人で、震災当時とあまり変わらない。福島原子力発電所付近から避難し、そのまま定住している人も多い。</li> <li>• 久之浜町は震災当時の人口6000人だったが、現在は5000人弱。インフラ整備はされたが過疎化が進んでいる。</li> <li>• 震災当時は8.6mの津波が到来し、多くの家屋が流された。ガイド阿部さんの奥さんは民生委員をしていたため、見守り対象の高齢者と一緒に車で避難しようとしたが、津波により車ごと流された。ただし家屋の外壁に車が引っ掛かり、一命はとりとめた。</li> </ul>



- ・津波による久之浜町の犠牲者は63名。寝たきりの人と介護者が多かった。避難先での低体温症で6名亡くなった。
- ・震災後に火災が発生し、71戸が全焼した。
- ・福島原子力発電所事故により、いわき市から自主避難勧告（市独自の判断）。市がバスを調達し住民は町内避難所（主に避難）へ着のみ着のまま避難した。
- ・避難後の留守宅は窃盗団により荒らされ、テレビ等が盗まれた。（当時はアナログから地デジに移行のため新品に買い替えた家庭が多かった）
- ・海岸部は住宅地だったが、津波によりほとんどが全壊した。その後、国が土地を買い上げ、津波緩衝帯用の防災緑地とした。
- ・久之浜漁港は震災前75億円市場で築地に魚介を出荷していたが、現在は週3日の試験操業をしている。震災当時は50人ほど漁港にいたが、沖合に船を出し、高台避難するなどして、犠牲者はいなかった。
- ・魚介類の放射線濃度は国の基準が100ベクレル/kg以下だが、久之浜漁港では自主規制として50ベクレル/kgを超えたら出荷しないことにしている。
- ・震災から10年経ち、避難先で新たな生活基盤を築いている人も多い。放射線量は低減して、科学的な安全性は証明されても、帰還者は1割程度なのが、各自治体共通の悩みである。



#### 所感等

##### 【相澤宗一】

柏崎市も大きな震災を経験しており、その継承と教訓の発信を継続するためのメモリアル施設を有している。東日本大震災における津波経験、命を守るための伝承・取り組みに触れることで、自分たちの防災に役立てたいと思い訪問した。一番印象に残ったのは、お年寄りの被害者が多かったこと。その理由は、今までも大きな津波の予報に接しながら避難をしなくても大事がなかった経緯を皆が持っていたためであり、これは大きな教訓に値すると思った。また、福島第一原子力発電所からは32km離れているが、放射線の影響で余儀なく避難。語り部さんからは「見えない恐怖」という言葉があったが、放射線に関する教育もしっかりしないと避難行動にも影響が出るものと感じた。

##### 【佐藤和典】

視察先の久之浜地区は、津波の高さ7.45m。約70名の方が震災の犠牲になった。地震・津波・火災・原発事故による全町民避難、その後の風評被害など、数々の災難を立て続けに経験した。それらを風化させないハード施設が「いわき震災伝承みらい館」であり、ソフトが「震災語り部」である。当日は、沿岸部の防潮堤、防災緑地の整備、住宅地の区画整理と高台移転、久之浜漁港から高台への避難階段の整備などを視察したが、被災地の現状や復興状況などの伝え方を柏崎でも参考にしたい。

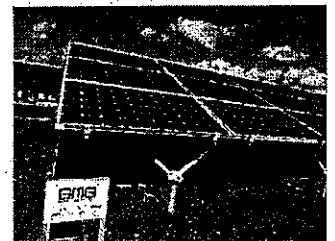
##### 【近藤由香里】

今回の視察では、柏崎市の市民活動センターまちからとの比較も含めて、いわき市における震災経験の伝承と防災教育を知ることができた。実際に震災を経験した語り部さんのガイドにより、当時の状況やそこからの教訓等を克明に知ることができた。また大久ふれあい館は防災教育拠点であると同時に、避難所としての機能も高く、施設された状態でも、非常時にガラスを蹴破れば中に入れるようにするなど、津波被害の経験が生かされた構造となっていた。生きた防災対策・防災教育を体験できた貴重な機会となった。

# 出張報告

報告日 令和3年11月15日

会派名	民友
報告者氏名	相澤宗一、佐藤和典、近藤由香里
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	福島空港メガソーラー事業
日時	令和3年11月5日（金） 11:10～11:40
場所（会場）	福島県須賀川市／石川郡玉川村
調査項目等	再生可能エネルギー活用事業について
概要	<p>◆対応者 福島発電株式会社 企画員 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 様</p> <p>◆福島空港メガソーラー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年3月に運転開始。</li> <li>・総事業費4億円のうち、1億円は県民参加型ファンドにより調達。</li> <li>・設備容量 約1,200KW（一般家庭約330世帯分）。全量を東北電力(株)に売電。</li> <li>・産業技術総合研究所と連携し、10か国30種類の太陽光パネルの発電状況や、6種類の架台の経年劣化等の長期的な評価・研究をしている。</li> <li>・再生可能エネルギーの職場体験の場として提供。</li> </ul> <p>*福島県では2040年には再生可能エネルギー100%とすることを目指している。 2020年時点で再エネ率43.6%。</p> <p>①福島空港北発電所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備容量：500KW（約138世帯分）</li> <li>・設置枚数：2000枚</li> <li>・傾斜角度：20度</li> </ul> <p>②福島空港ソーラーパーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置容量：169KW（約48世帯分）</li> <li>・設置枚数：717枚</li> <li>・傾斜角度：20度</li> </ul> <p>③福島空港追尾式太陽光発電システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備容量：22KW（約6世帯分）</li> <li>・設置枚数：100枚（25枚×4基）</li> <li>・特徴：福島空港における太陽の動きをプログラム化し、現在の時間と季節で、一番いい太陽の向きを追尾する。両端に風速計がついていて、風速8mを感知すると、水平になり風を逃がす。</li> </ul>



◆太陽光電池の種類

- 単結晶シリコン：高性能、変換効率◎、比較的效果
- 薄膜シリコン：高温環境に強い、変換効率△、省資源
- 多結晶シリコン：最も普及している、変換効率○、比較的安価
- CIGS系・・量産性が高い、変換効率○、省資源

◆架台の種類

- 傾斜変動式架台：季節や太陽の角度に合わせて傾斜角の調整が可能
- FRP 架台スクリュー杭基礎：軽量、強度、耐食、施工性高い（ネジ型基礎）
- 木製架台：塩害に強い、環境配慮型
- 銅製架台：耐食性の強いめっき銅板
- アルミ架台：軽量、施工性高い
- アルミ架台スクリュー杭基礎：軽量、施工性高い（ネジ型基礎）



◆取り組み

- 環境学習の一環として、機械を使用した体験学習や、発電事業者に講座を開催し、再生可能エネルギーの普及啓発に取り組む。
- 福島県の再エネの取り組みについて、国内外のメディアを通じて情報発信している。

所 感 等

【相澤宗一】

柏崎市は地域エネルギー会社の設立に向け準備が進められている。当面は太陽光発電が主になるため、産業技術総合研究所（国立研究開発法人）と連携している取り組みについて知見を得るため訪問した。太陽光電池の種類は大きく4種類あり、それぞれ変換効率や耐久性が違わずだが、結果して性能はほとんど変わらないとのこと。福島空港付近の日照環境は年間を通して良好とのことだが、日が陰ると極端に出力が下がっていた。太陽光パネルの寿命は10~15年、生産はほとんどが外国製であり、廃棄時期を考慮し、調達の際は有害物質の有無を気にかける必要がある。



【佐藤和典】

1つのサイトで、多くの種類の太陽光パネルと架台システムを見られるのは世界的にもあまりないそうである。こうした見せ方にしたのは、福島県のエネルギー政策が背景にあり、東日本大震災に伴う原発事故を機に、「2040年をめどに県内の1次エネルギー需要量の100%以上に相当するエネルギーを再エネから生み出す」という目標があるからである。比較研究ができる施設なので、太陽光発電の台風対策や日本における太陽光発電のコスト動向、メガソーラーの工期などを考えるに大変参考となる施設である。

【近藤由香里】




福島空港ソーラーパーク内には多種多様な太陽光パネル、架台が設置され、太陽光発電の技術革新に大きく貢献してきたことを理解した。また元々は研究施設だったが、現在は売電しながら教育施設としての役割も果たしている。また福島県は2040年に再エネ率100%とすることを目標に掲げ、2020年度は43.6%まで達成したという。まさしく再エネ先進地であり、今後の柏崎市における再エネ導入においても、施設設備の活用など、学ぶべき点が多々あると感じた。

様式3

会派長	経理責任者
相澤宗一 	近藤 由香里 

政務活動費

令和3年10月22日

民友  
氏名 相澤 宗一   
佐藤 和典   
近藤 由香里 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ( <input type="checkbox"/> 行政視察 ) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議	
期 間	令和3年11月4日(木) ～ 令和3年11月5日(金)	
用 務	1	福島第一原子力発電所
	2	いわき市地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館
	3	福島空港メガソーラー事業
	4	
出張先	1	福島県双葉郡大熊町
	2	福島県いわき市
	3	福島県須賀川市
	4	
調査又は 要望項目  ※研修会、各種会議は記入不要	1	廃炉作業の進捗状況について
	2	震災経験の伝承と防災教育について
	3	再生可能エネルギー活用事業について
	4	
その他	施設間移動に公共交通を使うのが困難であることから、自家用車を使用させていただきたい。	

添付書類 ・ 調査研究 (行政視察含む)、陳情・要請活動の場合は行程表等  
 ・ 研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等 (写し)

様式 3-2

1 主な行程

月 日	発着地	視察地	用務	宿泊地	備考
11/4	柏崎市役所 発 大熊町 着	福島県 双葉郡大熊町	福島第一原子力発電所		自家用車
11/4	大熊町 発 いわき市 着		宿泊	いわき市	自家用車
11/5		いわき市	いわき市地域防災 交流センター 久之浜・大久ふれ あい館		自家用車
11/5	いわき市 発 須賀川市 着	須賀川市	福島空港メガソー ラー事業		自家用車
11/5	須賀川市 発 柏崎市役所 着				
/					

前泊必要 (理由:

後泊必要 (理由:

2 必要経費

・ 交通費・燃料費	5,500 円×	3	人=	16,500
・ 宿泊費	7,300 円×	3	人=	21,900
・ 食費・雑費	6,000 円×	3	人=	18,000
・ ガイド利用	5,000 円			5,000
			合計	61,400



～民友 会派視察 行程表～

<11月4日(木)>

7:00 柏崎市内 出発(自家用車)

北陸自動車道、磐越自動車道利用

12:20 福島第一原子力発電所 到着

構内視察 12:30～16:20

16:30 発電所出発

17:30 宿泊先 到着(ホテルルートインいわき駅前)

<11月5日(金)>

7:00 宿泊先 出発

8:20 いわき市地域防災交流センター 到着

8:30～9:30 視察

9:40 いわき市地域防災交流センター 出発



11:20 福島空港 到着

福島空港メガソーラー視察

12:00 福島空港 出発


磐越自動車道、北陸自動車道利用

16:00 柏崎市内 到着

会派長	経理責任者
相澤 宗一 	佐藤 和典 

政務活動費

令和3年12月2日

氏名 相澤 宗一 

政務活動経費請求書 (精算書)

政務活動経費について、次の通り請求 (精算) します。

月 日	項 目	金 額	備 考
11月11日	交通費	99,860	往路航空券; 47,880円 11/24羽田空港-米子空港2人分 復路航空券; 51,980円 11/25出雲空港-羽田空港2人分
11月19日	交通費	39,540	JR 柏崎-東京間往復 19,770円×2人
11月23日	旅費	12,350	宿泊費 (三交インGrande東京浜松町) 1泊朝食付き 6,175円×2人
11月24日	交通費	1,000	東京モノレール利用 (往路) 浜松町-羽田空港 2人分
11月24日	旅費	13,400	宿泊費 (ホテルルートイン松江) 1泊朝食付き 6,700円×2人
11月25日	交通費	19,360	レンタカー利用 (2日間) ニッポンレンタカー
11月25日	自動車燃料費	1,328	満タン返却 (ガソリン8.05リットル)
11月25日	交通費	1,000	東京モノレール利用 (復路) 羽田空港-浜松町 2人分
11月25日	旅費	21,000	雑費; 1,500円×2人×3日 夕食代; 3,000円×2人×2泊
合 計		208,838	
概算 (仮) 払額			
差引	(請求額)	208,838	
	(返金額)		
(備考) 参加者: 相澤宗一、佐藤和典			

支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 研修費 <input type="checkbox"/> 3 広報費 <input type="checkbox"/> 4 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 会議費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 9 人件費 <input type="checkbox"/> 10 事務所費	整理番号 (項目別)
		1 - 2

# 領収証

ADVENTURE skyticket

民友 様

NO. 1241523

**¥47,880-**

但し、11/24航空代金として

入金日: 2021/11/11

発行日: 2021/11/16

支払い方法: コンビニ決済

左記、正に領収いたしました

〒150-6024

東京都渋谷区恵比寿 4-20-3

恵比寿ガーデンプレイスタワー 24階

発行元: 株式会社アドベンチャー

お問い合わせ先: スカイチケットカスタマーサービス

URL: <https://skyticket.jp>



# 領収証

ADVENTURE



民友 様

NO. 1241520

**¥51,980-**

但し、11/25航空代金として

入金日: 2021/11/11

発行日: 2021/11/16

支払い方法: コンビニ決済

左記、正に領収いたしました

〒150-6024

東京都渋谷区恵比寿 4-20-3

恵比寿ガーデンプレイスタワー 2階

発行元: 株式会社アドベンチャー

お問い合わせ先: スカイチケットカスタマーサービス

URL: <https://skyticket.jp>



領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 1 - 2 - 3

支出項目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	✕	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証

2021年11月19日

佐藤 和典 様

金19,770円

ただし、乗車券類代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納  
付 に つ き 汲 谷  
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
柏崎801 No.000011

領 収 証

2021年11月19日

相澤 宗一 様

金19,770円

ただし、乗車券類代  
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納  
付 に つ き 汲 谷  
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、  
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社  
柏崎801 No.000012

領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 1 - 2 - 4

支出項目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	X	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 書

No. 000239517 精-02 21/11/23 17:26  
[ 予約 ]

部屋番号 708

ご滞在期間 2021/11/23~2021/11/24  
ご利用日 2021/11/23

アイザワ ソウイチ 様

ご請求額 6,175円

上記金額をクレジットにて領収致しました

◆ご利用明細◆  
※1泊1名様あたり  
税込11100円以上の場合100円  
税込16700円以上の場合200円  
の宿泊税が含まれております

(1泊分) 6,175円  
6,175円

三交インGrande東京浜松町

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番18号  
TEL. 03-6435-9537  
FAX. 03-6435-9579

客室に設置してあります  
館内案内をご確認ください

現金でのお支払い金額  
が5万円以上のお客様  
は収入印紙を貼付致し  
ますので、フロントへ  
お越し下さい。



領 収 書

No. 000239518 精-01 21/11/23 17:26  
[ 予約 ]

部屋番号 707

ご滞在期間 2021/11/23~2021/11/24  
ご利用日 2021/11/23

サトウカズノリ 様

ご請求額 6,175円

上記金額をクレジットにて領収致しました

◆ご利用明細◆  
※1泊1名様あたり  
税込11100円以上の場合100円  
税込16700円以上の場合200円  
の宿泊税が含まれております

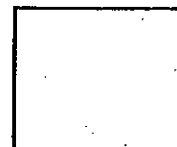
(1泊分) 6,175円  
6,175円

三交インGrande東京浜松町

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番18号  
TEL. 03-6435-9537  
FAX. 03-6435-9579

客室に設置してあります  
館内案内をご確認ください

現金でのお支払い金額  
が5万円以上のお客様  
は収入印紙を貼付致し  
ますので、フロントへ  
お越し下さい。



領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 1 - 2 - 6

支出項目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	X	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

**領収証**

利用年月日 2021年11月24日

取引内容 乗車券発売

利用金額 500円

毎度ありがとうございます  
この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 水戸駅 水戸町  
 乗車券番号 券B01  
 伝票番号 6011  
 東京モノレール株式会社

**領収証**

利用年月日 2021年11月24日

取引内容 乗車券発売

利用金額 500円

毎度ありがとうございます  
この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 水戸駅 水戸町  
 乗車券番号 券B02  
 伝票番号 6249  
 東京モノレール株式会社

**領収証**

利用年月日 2021年11月25日

取引内容 乗車券発売

利用金額 500円

毎度ありがとうございます  
この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第  
 乗車券番号 券B01  
 伝票番号 8873  
 東京モノレール株式会社

**領収証**

利用年月日 2021年11月25日

取引内容 乗車券発売

利用金額 500円

毎度ありがとうございます  
この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 羽田空港第  
 乗車券番号 券B02  
 伝票番号 9974  
 東京モノレール株式会社

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 1 - 2 - 71

支出項目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	X	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 書

No.000111489 HOST 21/11/24 17:16  
[チェックイン]

**部屋No. 201**

ご利用期間 2021/11/24~2021/11/25  
ご利用日 2021/11/24

相澤 宗一 様

ご請求額 6,700円

上記金額を領収致しました

ホテルルートイン松江

島根県松江市東本町2-22  
TEL 0852-20-6211  
FAX 0852-20-6216

印紙税申告納  
付につき品川  
税務署承認済

ルートインジャパン株式会社  
作成地：東京都品川区大井1-35-3

◆ご利用明細◆

ご請求額 6,700円

室料 (1泊分) 6,700円  
(内消費税 609円)

ご入金額 6,700円(NICCS)

領 収 書

No.000111488 HOST 21/11/24 17:12  
[チェックイン]

**部屋No. 710**

ご利用期間 2021/11/24~2021/11/25  
ご利用日 2021/11/24

佐藤 和典 様

ご請求額 6,700円

上記金額を領収致しました

ホテルルートイン松江

島根県松江市東本町2-22  
TEL 0852-20-6211  
FAX 0852-20-6216

印紙税申告納  
付につき品川  
税務署承認済

ルートインジャパン株式会社  
作成地：東京都品川区大井1-35-3

◆ご利用明細◆

ご請求額 6,700円

室料 (1泊分) 6,700円  
(内消費税 609円)

ご入金額 6,700円(NICCS)



領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 1 - 2 - 9

支出項目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	<del>XXXXXXXXXX</del>	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

いつもありがとう  
ございます

領 収 書

2021年11月25日(木)14:55

給油 010000

VIP会員 様  
6-897258-10006-000 9574-3 1  
4-現金固定  
実車番:5065

\*レギュラー ¥1,328  
N01 8.05L/ℓ @165.00  
(内消費税 @53.80 ¥433)

小 計 ¥1,328

合 計 ¥1,328  
(内消費税等 ¥121)  
(10%対象金額 ¥1,328  
内消費税等 ¥121)


商品欄 \*内税商品 #非課税商品

(有) 寿商事斐川北SS  
出雲市斐川阿沖洲1080  
TEL (0853)-72-0257

2021/11/25 8734 NO:9089  
SC:8972580-1 係員:04





様式 4

会派長
相澤 宗一 




政務活動費

令和3年12月2日

民友  
氏名 相澤 宗一   
佐藤 和典 

### 政務活動報告書

次のとおり報告します。

種 別	■調査研究 (□行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議	
期 間	令和3年11月23日(火) ~ 令和3年11月25日(木)	
1	日 時	11月24日(水) 13:00 ~ 16:30
	用 務	島根原子力発電所
	出張先	島根県松江市
	調査又は要望項目(※)	試運転、再稼働、廃止措置が競合する状況について (島根原子力発電所の概要、安全対策、3号機の概要ほか)
	対応者(※)	中国電力株式会社 島根原子力本部 副本部長  様、 広報部 部長  様、広報部 担当副長  様
	報 告	別紙のとおり
2	日 時	11月25日(木) 9:30 ~ 10:45
	用 務	松江市議会議員との地域防災に関する懇談
	出張先	島根県松江市
	調査又は要望項目(※)	原子力防災における松江市とその周辺の対応について
	対応者(※)	松江市議会議員 森本秀歳様、山根 宏様
報 告	別紙のとおり	





※研修会、各種会議は記入不要

3	日 時	11月25日(木) 11:30 ~ 12:10
	用 務	ユーラス新出雲ウインドファーム
	出張先	島根県出雲市
	調査又は 要望項目 (※)	海岸線における風車群の景観とその影響について
	対応者 (※)	なし
	報 告	別紙のとおり
4	日 時	~
	用 務	
	出張先	
	調査又は 要望項目 (※)	
	対応者 (※)	
	報 告	別紙のとおり

※研修会、各種会議は記入不要

# 出張報告


報告日 令和3年12月2日

会派名	民友		
報告者氏名	相澤宗一、佐藤和典		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ( <input type="checkbox"/> 行政視察 ) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議		
用務	島根原子力発電所		
日時	令和3年11月24日(水) 13:00~16:30		
場所	島根県松江市		
調査項目等	試運転、再稼働、廃止措置が競合する状況について		
概要	<p>◆対応者(中国電力株式会社) 中国電力株式会社 島根原子力本部 副本部長 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> 広報部 部長 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> 氏、広報部 担当副長 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> 氏</p> <p>◆島根原子力館 ①概要説明 ②DVD 視聴</p> <p>◆島根原子力発電所3号機内視察 ①中央制御室(見学ルーム) ②タービン建物 ③原子炉建物 ・オペフロ(見学ルーム) ・上部ドライウェル ・下部ドライウェル ・サブプレッションチェンバ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
所感等	<p>【相澤宗一】 島根原子力発電所は柏崎刈羽原子力と同型の沸騰水型原子炉(BWR)であり、1号機は廃止措置作業に着手、2号機は再稼働のための原子炉設置変更許可をこの9月に受けたばかり、3号機は建設の大詰めの状態という原子力の3世代が同居する発電所である。 特に、本来であれば島根3号機は2011年の春には燃料装荷が行われ、試運転、年の暮れには運転開始が見込まれていたが、その直前において待ったがかかり、10年間塩漬け状態となっていた。 新規制基準に対応する安全対策において、柏崎刈羽原子力発電所では放射線量の関係で間近に確認することができない場所が、島根3号機では様子が伺え、理解も深まるものと感じた。</p> <p>【佐藤和典】 9月15日に島根原子力発電所2号機が新規制基準適合性審査に合格したことを受けて、新規制基準対応や安全対策の実施状況、及び避難計画や周辺自治体に対する中国電力(株)の考え方について視察・調査を行った。 海拔・断層の違いから建屋の敷地面積や深さ(階層)も東京電力HDのプラントと違うが、高さ11.9mの津波を想定して建設された標高15m、延長1.5kmの「防波壁」を確認した。また、外部からだけではなく、内部においても水が入らないよう多重の「水密扉」が設けられた地下の非常用発電設備なども確認した。 避難計画については、新潟県と違い県外に避難するケースもあるため、他県と調整を図らなければならないこと、30km圏内が複数の県、市にまたがっている為、周辺自治体との関係が複雑になっていることなどが確認された。 これから先は、国や中国電力(株)より地域に対しての説明が行われるという段階だが、</p>		

柏崎のケースを想定しながら島根原子力発電所の取組を注視していきたい。

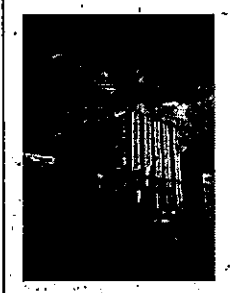


# 出張報告

報告日 令和3年12月2日

会 派 名	民友	
報告者氏名	相澤宗一、佐藤和典	
種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議	
用 務	松江市議会議員との地域防災に関する懇談	
日 時	令和3年11月25日（木） 9:30～10:45	
場 所	島根県松江市	
調査項目等	原子力防災等松江市民の受け止めについて	
概 要	<p>◆対応者 松江市議会議員 森本秀歳氏、山根 宏氏</p> <p>◆意見交換概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難計画・訓練の状況</li> <li>・島根原子力発電所対策特別委員会の状況</li> </ul>	
所 感 等	<p>【相澤宗一】</p> <p>原子力発電所を立地する都市の議員は、災害時には原子力災害への対応も的確に取らなければならないことについて認識を深められた。</p> <p>風水害、あるいは地震の際はその危険が及ぶ場所から離れる必要があるが、原子力災害においては、単に遠くへ移動するのではなく、屋内にとどまるという選択もときには必要であり、情報の収集と放射線に対する知識の習得は日頃より研鑽しなければならないものと感じた。</p> <p>また、それぞれの議会が持つ原子力の特別委員会について意見交換ができたことも有意義であった。</p> <p>【佐藤和典】</p> <p>松江市議会議員2名と懇談し、松江市とその周辺の原子力防災について調査した。松江市周辺には宍道湖と中海の2つの湖があり、市街地には松江市を北と南に分けている大橋川がある。そのため「水の都」とも呼ばれている反面、水害に悩まされている地域である。島根原子力発電所は、県庁所在地にある唯一の発電所ということから、災害発生時には多くの方が避難することを想定した対応が課題となっている。</p> <p>避難先は住んでいる地域によって、島根県内だけでなく鳥取県や岡山県など複数に分かれる為、国・県・市町村の連携は必須となる。懇談で強く感じたのは、地域の皆さんへの正確でタイムリーな情報提供の必要性である。例えば、原発事故が発生した時にどこ（職場・学校）にいるか、住んでいるか（自宅）によって、即時避難が必要な場合と、屋内退避の方が、移動して避難するよりも安全な時もある。</p> <p>避難計画に完璧はなく、たゆまぬ改善と努力を積み重ねることが実効性を強くするものと感じた。</p>	



# 出張報告

報告日 令和3年12月2日

会派名	民友		
報告者氏名	相澤宗一、佐藤和典		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ( <input type="checkbox"/> 行政視察 ) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議		
用務	ユーラス新出雲ウインドファーム (国内最大級の風力発電所)		
日時	令和3年11月25日 (木) 11:30~12:10		
場所	島根県出雲市		
調査項目等	海岸線における風車群の景観とその影響について		
概要	<p>◆事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2007年2月 着工</li> <li>・2009年4月 運転開始</li> <li>・発電機基数 26基</li> <li>・設備容量 78,000kW (3,000kW×26基)</li> <li>・電力供給先 中国電力株式会社</li> <li>・事業期間 20年間</li> </ul> <p>◆事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間予測発電量 一般家庭約40,000世帯分に相当</li> <li>・年間CO<sub>2</sub>削減量 約85,000t</li> </ul>	  	
所感等	<p>【相澤宗一】</p> <p>島根半島西部、出雲市北浜の海岸に突出する地形のため、日本海の上を絶え間なく流れる風が、そこに立つ風車にぶつかり、その風を受けた羽根が大きな音とともに激しく回転をしており、間近にいると恐怖にも似た感覚に陥った。しかし、巨大なエネルギーを生み出すにはそれなりの大きさとか力強さが必要であり、風車ひとつは小さな出力でも連続して構えることにより、大きなエネルギーに変換できる。ただ、まちの景観とも調和する必要があるため、乱立がいいとは言えない。神話の里としても有名な出雲市だからこそ、「神話の舞台を吹き抜ける風を利用」というキャッチコピーで観光客を引き入れることができる。柏崎市においても「これは」というストーリーを作ってみたい。</p> <p>【佐藤和典】</p> <p>ユーラス新出雲ウインドファームは、島根半島の先端にあり、海と海に挟まれたような立地である。また、壮大 (パンフレットの上空写真で見ると壮大) な風景を予想していたものの、近くを自家用車で通っても26基の風力発電機が、山並みに隠れており、風車自体が余り見えない地形である。「宍道湖景観形成地域」の景観に与える影響を最小限に抑えるとのことで、計画の段階で風車26基中10基の設置位置を変更したことに頷けそうだ。また、山を切り開いたところに立地しており、ふもとの集落内は道路が狭いため、建設時の資材輸送などは困難を極めたものと予想できる。</p> <p>発電量は26基で78000kwと国内最大級の風力発電所であるが、やはり原子力発電と比べると物足りない。一方、風力発電のデメリットである「鳥類への影響」「騒音」「電磁界」の影響は今後も調査を続けていきたい。また、出雲市の産業観光の一つにもなっているため、景観を生かした開発によりもっと観光客を呼び込めるものと感じた。</p>		



様式3

会派長	經理責任者
相澤 宗 	近藤 由香里 

政務活動費

令和3年11月12日

民友

氏名

相澤 宗 

佐藤 和典 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	■調査研究 (□行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議	
期 間	令和3年11月24日(水) ~ 令和3年11月25日(木)	
用 務	1	島根原子力発電所
	2	松江市議会議員との地域防災に関する懇談
	3	ユーラス新出雲ウインドファーム
	4	
出張先	1	島根県松江市
	2	島根県松江市
	3	島根県出雲市
	4	
調査又は 要望項目  ※研修会、各種会 議は記入不要	1	試運転、再稼働、廃止措置が競合する状況について
	2	原子力防災等松江市民の受け止めについて
	3	海岸線における風車群の景観とその影響について
	4	
その他	施設間移動に公共交通を使うのが困難であることから、レンタカーを使用させていただきたい。	

添付書類

- ・調査研究 (行政視察含む)、陳情・要請活動の場合は行程表等
- ・研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等 (写し)

様式 3 - 2

1 主な行程

月 日	発着地	視察地	用務	宿泊地	備考
11/23	柏崎 発 東京 着	-	前泊	浜松町	
11/24	羽田空港 発 米子空港 着	松江市	島根原子力発電所	松江市	
11/25	松江市内 発 松江市内 着	松江市	松江市議会議員との懇談	-	
11/25	松江市 発 出雲市 着	出雲市	ユーラス新出雲ウインドファーム	-	
11/25	出雲空港 発 羽田空港 着	-	帰路	-	
11/25	東京 発 柏崎 着	-	帰路	-	

前泊必要 (理由: 視察時間に間に合う飛行機がないため)

後泊必要 (理由: )

2 必要経費

- 鉄道利用 (往復) 20,000 円 × 2 人
- 飛行機利用 (往復) 50,000 円 × 2 人
- レンタカー (2日間) 20,000 円 × 1
- 宿泊費 (2泊) 15,000 円 × 2 人